

2009年7月21日(火)

報道関係者各位

笹川平和財団

【中国地方大学における日本語学習者訪日研修】

中国の甘肅省・青海省・内モンゴル自治区・寧夏回族自治区の

大学より第一期生が来日します

7月27日～8月24日に、笹川平和財団(SPF)・笹川日中友好基金の招きで、中国の甘肅省・青海省・内モンゴル自治区・寧夏回族自治区の大学より、日本語学習者の訪日研修団20名(引率者2名を含む)が来日します。



中国国内で実施した二次選考(面接)の様相

近年、中国の高等教育機関の日本語学習者数は急増しており、その総数は40万人を突破しています。しかし、東南沿海の都市部の大学とは異なり、学習者数が著しく増加している華中・東北・西北・西南の大学では、情報量の不足や経済的な理由から、対日交流の機会が圧倒的に不足しています。こうした状況に鑑み、SPF・笹川日中友好基金は、厳しい環境の中で日本語の学習に取り組んでいる地方大学の優秀な学生を招へいし、語学研修を中心に、日本社会全体について見識を広

げる機会を提供します。第一期生である今回の訪日研修団への参加者は、中国教育部が国内で実施した厳しい第一次・第二次選考で優秀な成績をおさめた精鋭です。

一行は約1ヶ月の滞在期間中に、早稲田大学留学センターで日本語のブラッシュアップ授業や、日本の政治・経済・社会・文化に関する日本総理解コースを受講するほか、大学生を中心とした日本の若者との交流や、広島・京都への小旅行などを行う予定です。本取り組みを通じて、日本人と接触する機会が殆どない環境の中で懸命に日本語を学ぶ地方大学の学生にとって、語学力や日本理解向上に寄与することが期待されます。

【本リリースに関するお問い合わせ】

笹川日中友好基金事業室

于展 (u_ten@spf.or.jp)、玉腰辰巳 (tamakoshi@spf.or.jp)

電話 (03) 6229-5455、5461 Fax (03) 6229-5473